

診療情報提供書(医科→歯科)活用状況調査結果

1 回答数 60/135医療機関 44.4%

2 連携ツールには様々なものがありますが、知っているものすべてを選んでください。

①糖尿病診療情報提供書	40	
②糖尿病連携手帳	16	
③在宅療養手帳	19	
④その他	1	薬手帳
無回答	12	

3 歯科への紹介を行ったことがあるか。

①ある	9
②ない	45
③無回答	6

①ある→

どのようなツールを使用したか。

診療情報提供書	1
上記以外診療情報提供書	6
糖尿病連携手帳	1
在宅療養手帳	0
その他(院内他科受診依頼書)	1

連携において使いやすいか。

使いやすい	3
ふつう	3
使いにくい	0
その他	1
無回答	2

医科 歯科連携において必要なこと

医科と歯科とも連携できることの周知
医科と歯科の間での情報の共有

②ない→

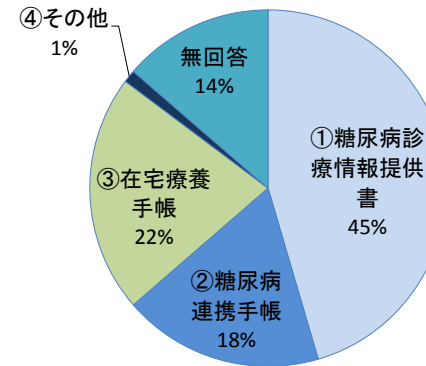
歯科への紹介を行ったことがない理由

ア)糖尿病患者を診察していない	16
イ)歯科診察の必要がなかった	16
ウ)歯科診察の必要性を感じない	4
エ)その他	6
オ)無回答	3
計	45

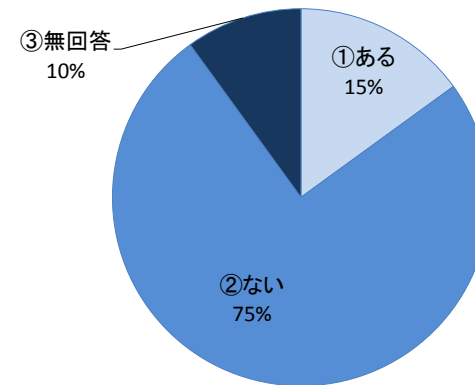
上記 エ)その他 コメント

精神科の為
 患者が自己判断で歯科受診している為
 患者にすすめるも強制していない為
 既に通院中
 検査結果は充分説明(データを渡している)そのデータを持って受診されるとよい
 歯科受診が必要な患者には、直接、受診するように指導しています
 対象者がいない

連携ツール・知っているもの



歯科への紹介を行ったことがあるか



上記 ④)無回答 コメント

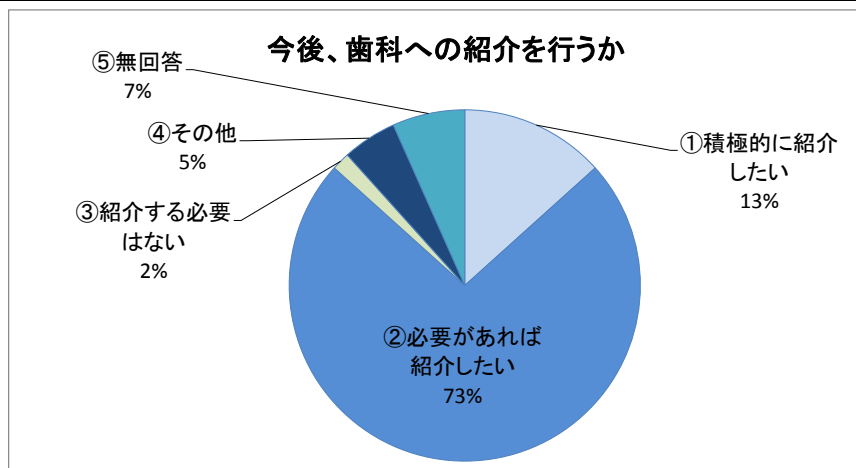
算定できますか？

医科 歯科連携において必要なこと

この連携が施行していることは患者様に周知
わかりません
医科 歯科の情報の共有が必要でしょう
医科 歯科合同研修会を開催し、親睦を深める。
紹介後、是非、返信をお願いしたい
当院では、糖尿病の可能性がある場合は全て糖尿病の治療を行なっている内科Drに紹介しているので当院はコメントする立場にありません。
糖尿病と歯科医院の関連性についての啓発
糖尿病患者に対し、口腔内トラブルが無い方から積極的に問診し、必要に応じて紹介する。
連携はとても重要です。診療情報提供書を送ると患者にお金の負担がかかる

4 今後、歯科への紹介を行うか

①積極的に紹介したい	8
②必要があれば紹介したい	44
③紹介する必要はない	1
④その他	3
⑤無回答	4



上記④)その他 コメント

これ迄通り、データを持参し受診がよいと考える
全科が必要と思う(歯科のみではない)
当院治療中の患者さんで糖尿病を治療中の内科医が歯科治療を関知していない場合で、緊急性を要する場合のみ通常は担当内科が行なうべきもの
糖尿病の治療をしていない為
糖尿病患者がいない
内科医に任せたい

5 意見等

さらに連携が発展することを望みます
医科と歯科の間の交流が少ない(ほとんどない)状況にあり、まずは積極的に交流をすすめることから始める必要があると考えます
患者のお金の負担が少ない方がよい
今後、必要があれば積極的に紹介していきたいと思っています
年に1~2回の医科 歯科合同研修会の開催